

第14回

海上技術安全研究所 講演会

in Fukuoka

環境技術と海洋開発の今とこれから

- 特別講演 「海洋産業と地域力」
国土交通省 海事局長 森重俊也
「バルクの大島の生きる道」
(株)大島造船所 代表取締役社長 南浩史
- 研究講演 「環境対応の船型開発を支えるハードとソフト」
流体設計系長 上入佐光
「排ガス規制の進展と技術ソリューションの行方」
環境・動力系長 春海一佳
「海洋開発の鍵を握る技術開発の展望」
研究統括主幹 田村兼吉

2014
11.17
Monday

事前登録制・入場無料



会場・アクセス

グランドハイアット福岡



福岡市博多区住吉1-2-82 TEL (092) 282-1234 (代表)

- 交通 福岡空港から車で15分。
- 博多駅博多口より徒歩15分。
- 地下鉄中洲川端駅◎出口より徒歩10分。
- 天神(渡辺通4交差点(福岡三越前))より徒歩10分。

◎お申込方法

事前登録制です。海技研ホームページの申込ページからお申し込みください。

<http://www.nmri.go.jp/>

◎お問い合わせ先

独立行政法人

海上技術安全研究所

企画部広報係

〒181-0004東京都三鷹市新川6-38-1

<http://www.nmri.go.jp/> E-mail: info2@nmri.go.jp

Tel:0422-41-3005 Fax:0422-41-3258

写真/ベイスサイドプレス博多と博多ポートタワー



第14回 海上技術安全研究所 講演会のご案内

— 環境技術と海洋開発の今とこれから —

謹啓 皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

地球環境への社会的関心の高まりを受けて、船舶への環境規制は厳しくなり、海事産業では省エネ技術の研究が進んでいます。また世界では、資源エネルギーの動向に熱い視線が注がれており、海洋分野でも開発への関心が高まっています。今次講演会では、造船・海運・海洋開発の一大拠点である九州で開催することとし、船舶の環境規制対応と省エネルギーのための技術、海洋におけるエネルギー開発への取り組みをテーマに取り上げました。特別講演として、国土交通省の森重俊也海事局長に「海洋産業と地域力」と題してご講演していただきます。また、初めて九州で開催するにあたり株式会社大島造船所の南浩史代表取締役社長に「バルクの大島の生きる道」でご講演していただきます。

ご多忙中とは存じますが、皆様お誘い合わせの上ご来場賜りくださいますようご案内申し上げます。

謹白

独立行政法人 海上技術安全研究所 理事長 茂里一紘

講演プログラム

開場13:00 開会13:30

ご挨拶

海上技術安全研究所 理事長 茂里一紘

特別講演

◎ 海洋産業と地域力

国土交通省 海事局長 森重俊也

造船業をはじめとした海洋産業は、国内立地型の輸出産業として我が国経済を支えるとともに、裾野の広い労働集約型産業として地域の雇用・経済を支えています。そこで、今回は「海洋産業と地域力」というテーマで、国土交通省が取り組んでいる戦略と政策について紹介いたします。

◎ バルクの大島の生きる道

(株)大島造船所 代表取締役社長 南浩史

世界の造船事情は激動の中にあります。中国の新造船竣工量はピークの半分未満となり、韓国造船業はオフショア比率を5割にしています。では日本造船業の勝ち残り策は？ 一方で世界の人口は増え、物流もより増大しています。これからの大島造船の生きる道は？ 1本ドックでバルクキャリア建造に特化、深化し、小さな世界企業、大島は、激動の世界で活路を求めています。

研究講演

◎ 環境対応の船型開発を支えるハードとソフト

流体設計系長 上入佐光

MARPOL条約による船舶のGHG排出に関する第一世代の規制が2013年1月1日から開始され、今後、段階的に強化されていきます。規制強化に対応する革新的な環境負荷低減技術、実海域における運航性能評価手法について、ハードおよびソフトの両面から海上技術安全研究所の研究開発成果をご紹介します。

◎ 排ガス規制の進展と技術ソリューションの行方

環境・動力系長 春海一佳

NOx3次規制とともに燃料油中硫黄分規制が強化されます。船舶の排ガス規制の進展状況を概説するとともに、規制への対応方法と問題点について、海上技術安全研究所で実施している湿式スクラバーに関する研究も含めて紹介いたします。

◎ 海洋開発の鍵を握る技術開発の展望

研究統括主幹 田村兼吉

拡大する海洋開発市場に我が国も参加するための様々な施策が動き出しています。海底熱水鉱床等の海洋鉱物資源の調査・開発、波力・潮力等の海洋エネルギーの活用促進といった新たな技術開発では、国が主導して民間企業とともに技術を確認し、産業創出につなげることがキーとなっています。海上技術安全研究所で展開する海洋開発技術について解説いたします。

